

令和5年度第2回
東大阪市上下水道事業経営審議会

資料4

令和4年度水道ビジョンの進捗報告

令和5年(2023年)9月20日
東大阪市上下水道局
水道総務部水道経営室



MONOZKURI CITY

HIGASHI-OsAKA

WHERE THE ANSWER IS



目次

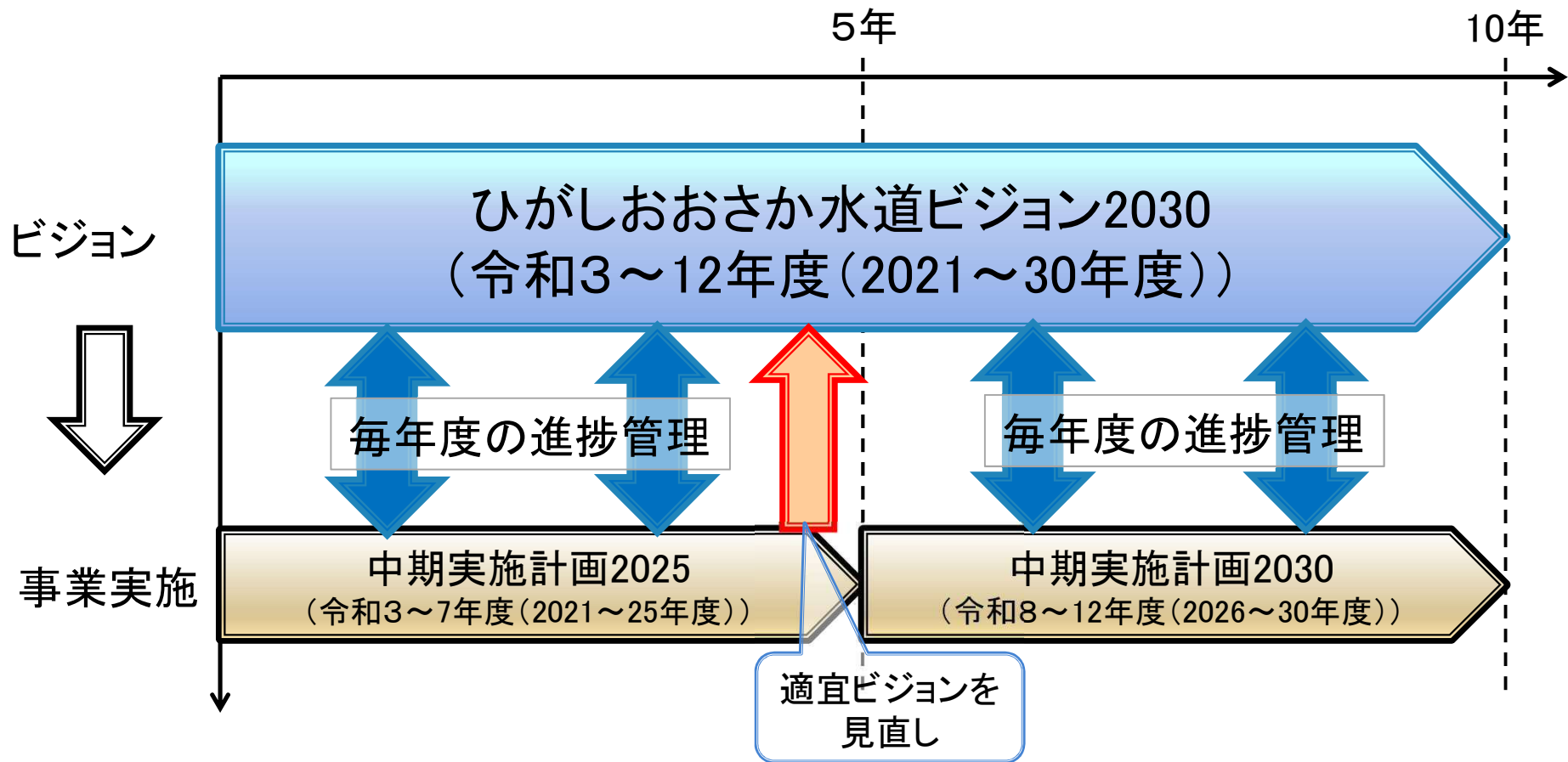
1. 進捗管理の考え方(おさらい)
2. 令和4年度の進捗管理の総括
3. 取組の進捗状況と課題への対応
4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ
5. 進捗管理のまとめ



1. 進捗管理の考え方(おさらい)

《 水道ビジョン・中期実施計画 》

水道ビジョンの進捗管理の考え方は、実行計画である中期実施計画により進捗管理を行うことで、水道ビジョンで設定した施策を着実に実施します。



1. 進捗管理の考え方(おさらい)

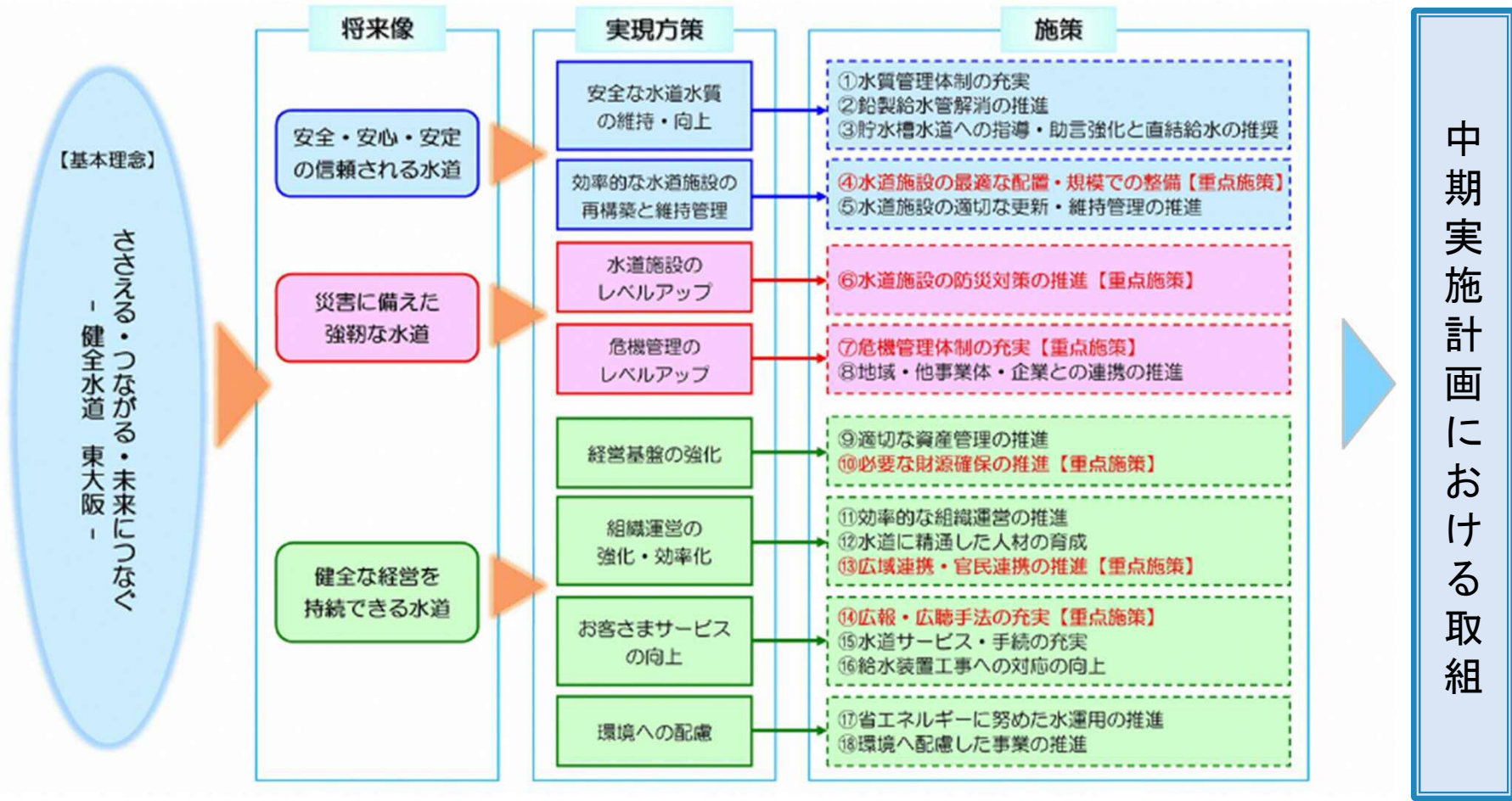
《 施策体系一覧 》

3つの将来像

8つの実現方策

18の施策

71の取組



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(1) 令和4年度 of 取組項目の進捗状況

取組項目	◎	○	△	×
71項目 (うち1件はR6年度より実施)	36項目 (51.5%)	29項目 (41.4%)	5項目 (7.1%)	0項目 (0%)
(凡例)	数値目標あり		数値目標なし	
◎	100%		予定どおり達成	
○	80%～99%		概ね達成	
△	80%未満		一部達成している が遅れている	
×	0%		未実施	



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

重点施策

平成30年12月に実施された水道法改正の趣旨、本市水道事業における重点的な施策推進の必要性、近年の水道事業環境の変化に対する優先度を勘案して、18の施策のうち6つの施策を「重点施策」として位置づけます。

NO.	重点施策内容
施策④	水道施設の最適な配置・規模での整備
施策⑥	水道施設の防災対策の推進
施策⑦	危機管理体制の充実
施策⑩	必要な財源確保の推進
施策⑬	広域連携・官民連携の推進
施策⑭	広報・広聴手法の充実



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備

- 石切高区浄水場は、規模が小さい一方で浄水場の更新・維持管理の負担が大きいため、配水池化に向けて取り組んでいます。令和4年度は令和7年度の配水池化を目指して、関係各所と湧水利用停止に向けた協議・調査を実施しました。
- 将来の水運用を見据えて、管路口径のダウンサイジング可能な箇所は管路更新計画に則り配水本管・支管の縮径を実施しました。

(参考) (R3・R4債整-2) 西堤西配水幹線布設替工事

ダウンサイジング対象延長: 395m、管路口径 $\phi 500 \rightarrow \phi 400$ へ縮径



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲配水用ポリエチレン管

施策⑥ 水道施設の防災対策の推進

- 配水池の耐震化として、五条中区配水池の耐震補強工事に向けた設計業務委託を完了しました。令和5年度の工事完了を目指しています。
- 管路の耐震化として、特に重要なφ400以上の基幹管路の耐震化、重要給水施設への供給ルートの耐震化工事を実施しました。

(参考) 令和4年度 基幹管路の布設延長: 1,766m

令和4年度 重要給水施設配水管路布設延長: 2,684m

- 耐久性が高く、経済性にも優れた管材料である「水道配水用ポリエチレン管」での施工により管路の耐震化を図りました。

(参考) 令和4年度 施工件数: 25件(φ150以下) 布設延長: 5,430m



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲市総合防災訓練

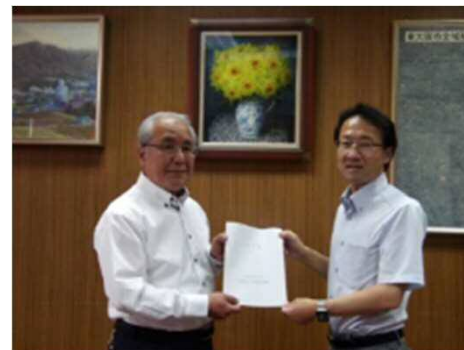
施策⑦ 危機管理体制の充実

- 危機管理対応マニュアルの構成を見直し、災害時における各担当職員の業務内容が分かるように内容を見直しました。
- 応急給水訓練を様々な形で実施しました(日本水道協会との訓練、大阪広域水道企業団との訓練、市総合防災訓練、市内配水場での訓練)。
- 重要給水施設である病院への現地調査(15機関)を実施し、災害時の応急給水方法の確認を行いました。



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲答申手交式

施策⑩ 必要な財源確保の推進

- 上下水道事業経営審議会を4回開催し、審議会から令和4年8月に「水道料金制度のあり方について」答申されました。その後、昨今の物価高騰による市民生活への影響を鑑み上下水道局で検討した結果、料金改定実施時期を令和6年4月より延期することとなりました。
- 給水装置工事手数料について、手数料に係る経費を見直し令和4年10月に改定を実施しました。
- 管路口径のダウンサイジングや、管材料に新たに「水道配水用ポリエチレン管」を用いる等、更新費用の縮減に努めました(令和4年度削減効果合計475,519千円)。



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進

- 大阪広域水道企業団との統合検討に関して、持続可能な水道を維持するため、岸和田市・八尾市・富田林市・和泉市・柏原市・高石市と本市を含めた7団体で、令和6年4月の企業団との統合に向けた検討、協議を進めました。
 - その後、和泉市が統合検討、協議について「継続しない」と決定したため、**令和7年4月の企業団との統合に向けた検討、協議を継続**
- 管路工事について、**小規模簡易DB(設計・施工一括発注)による工事を3件試行**しました。



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲水道週間での啓発イベント

施策⑭ 広報・広聴手法の充実

- 水道週間によるPRの実施として、市役所本庁舎での啓発イベントを実施しました。
- 市民理解が特に必要と思われる内容については市政だよりへ記事を掲載し、市政だよりの「特集記事」も活用しました。
- 東大阪市公式Twitter、Facebook及びLINEを利用し、SNSによる情報発信を強化しました。
- 市の広報部局と連携し、LINEアンケートを実施しました（配信数：12,135人、回答数：2,882人）。



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績1

NO.	指標項目	前年度 (R3年実績)	当年度 (R4年実績)	当年度 (R4年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
1	水質基準不適合率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	水安全計画の運用・改 善	運用中	運用中	適宜改善	適宜改善	適宜改善
3	鉛製給水管率(%)	6.6	6.0	7.0	5.5	3.1
4	小規模貯水槽水道点 検率(%)	---	---	---	80.0	100.0
5	配水池調査率(%)	63.6	81.8	81.8	81.8	81.8
6	管路更新率(%)	0.42	0.88	0.85	1.00	1.00



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績2

NO.	指標項目	前年度 (R3年実績)	当年度 (R4年実績)	当年度 (R4年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
7	有収率(%)	95.0	94.4	95.0	95.0	95.0
8	配水池の耐震化率 (%)	50.0	50.0	50.0	52.4	52.4
9	管路の耐震管率(%)	16.9	17.8	17.7	19.9	24.3
10	基幹管路の耐震適合 率(%)	49.4	53.4	48.1	53.2	65.3
11	重要給水施設配水管 路の耐震適合率(%)	29.5	32.9	33.1	39.6	54.4
12	料金回収率(%)	93.7	96.9	—	100.0以上	100.0以上



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績3

NO.	指標項目	前年度 (R3年実績)	当年度 (R4年実績)	当年度 (R4年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
13	料金収納率(%)	99.1	99.1	維持向上	維持向上	維持向上
14	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	263.7	262.1	350.0以下	350.0以下	350.0以下
15	内部・外部研修時間 (時間/人)	6.8	11.4	7.7以上	13.0以上	16.0以上
16	研究発表会における発表事例数(回)	2	5	複数回	複数回	複数回
17	インターネットによる情報の提供度(回)	282	242	向上	向上	向上
18	水道に対する満足度(%)	47.5	63.6	向上	向上	向上



2. 令和4年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績4

NO.	指標項目	前年度 (R3年実績)	当年度 (R4年実績)	当年度 (R4年計画)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
19	配水量1m ³ 当たりの電力消費量(kWh/m ³)	0.14	0.14	維持・低減	維持・低減	維持・低減
20	建設副産物のリサイクル率(%)	100.0	99.2	90.0以上	90.0以上	90.0以上
21	再生可能エネルギー利用率(%)	0.40	0.43	向上	向上	向上



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

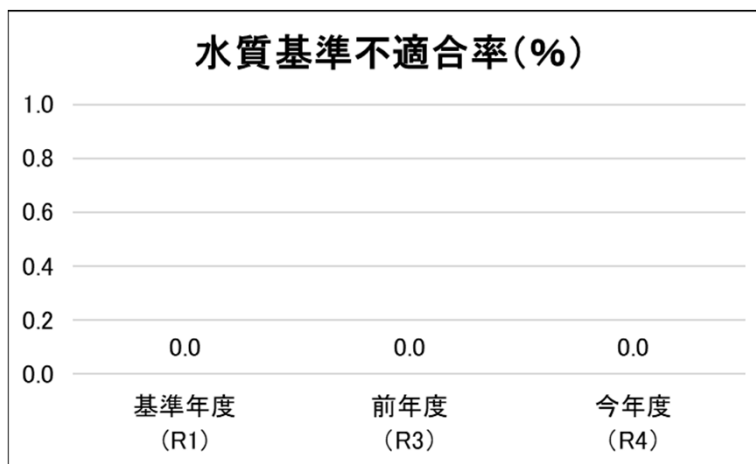


▲水質検査の様子

①水質基準不適合率(%)

計画数値(R04):0.0%
中間目標(R07):0.0%
最終目標(R12):0.0%

指標の
優位性



■水質基準不適合率

給水栓での水質基準に対する不適合割合。

◆評価

令和4年度水質検査計画に基づき、計画的に水質検査を実施しました。

令和4年度の水質検査結果は、全て水質基準適合で水道水に異常はありませんでした。(令和4年度定期水質試験のべ件数:5,113件)



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②水安全計画の運用・改善

計画数値(R04):適宜改善
中間目標(R07):適宜改善
最終目標(R12):適宜改善

指標の
優位性

—

東大阪市水安全計画
(概要版)



令和5年3月
東大阪市上下水道局

■水安全計画の運用・改善

水質管理の運用状況に基づく対応措置・方法の改善度合い及び水質基準の改定等の状況変化への対応状況を表す指標。

◆評価

水安全計画概要版を作成し、上下水道局ウェブサイトへ掲載しました。



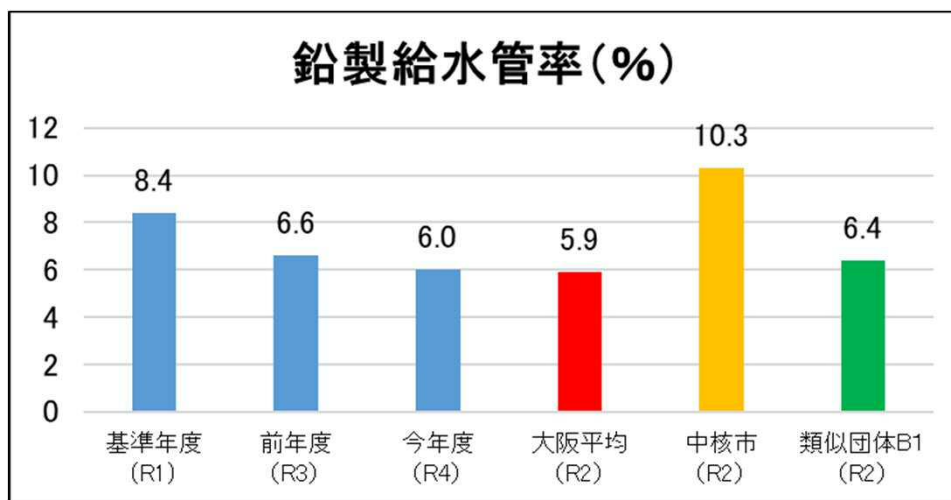
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

③鉛製給水管率(%)

計画数値(R04): 7.0%
中間目標(R07): 5.5%
最終目標(R12): 3.1%

指標の
優位性



■鉛製給水管率(%)

給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標。

◆評価

令和4年度鉛製給水管解消実績(目標値)

件数: 448件(611件)

戸数: 1,415戸(1,497戸)

件数、戸数での解消実績としては目標値に届かなかったものの、工事の着実な実施により
鉛製給水管率は令和4年度の目標値を大きく上回りました。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

④小規模貯水槽水道点検率(%)

計画数値(R04):0.0%
中間目標(R07):80.0%
最終目標(R12):100.0%

指標の
優位性



■小規模貯水槽水道点検率(%)

5年以内に点検を実施した小規模貯水槽水道の件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標。

◆評価

貯水槽設置調査に基づいた調査対象の整理を行いました(**点検は令和5年度より実施予定**)。
貯水槽水道の設置者および管理者へ維持管理の啓発文を送付(送付数:4,401件)、市ウェブサイトや広報紙に掲載することで、維持管理の必要性を周知しました。



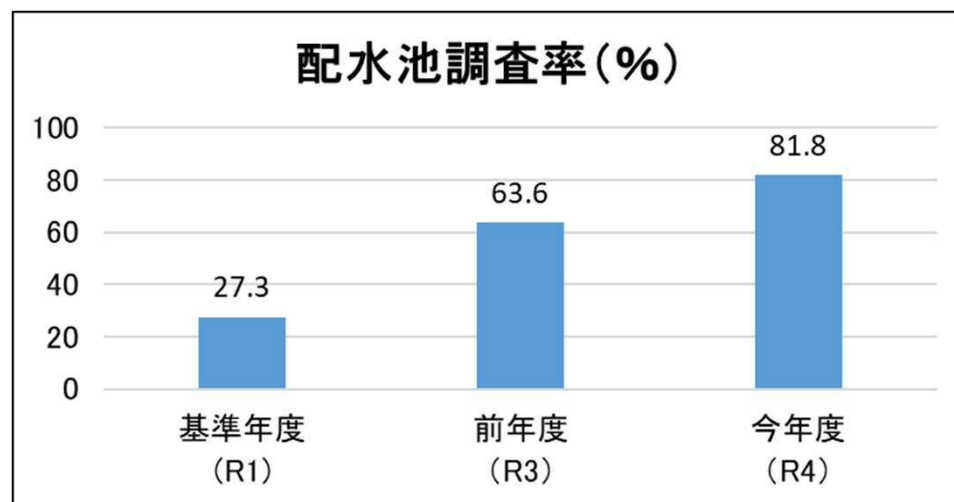
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑤配水池調査率(%)

計画数値(R04): 81.8%
中間目標(R07): 81.8%
最終目標(R12): 81.8%

指標の
優位性



■配水池調査率(%)

躯体コンクリートの劣化状況を調査した配水池の割合を示すものであり、健全性確保に向けた配水池調査の執行度合いを表す指標。

◆評価

令和4年度においては、**池島配水場の劣化調査を完了**したことから、**目標値を達成**することができました。



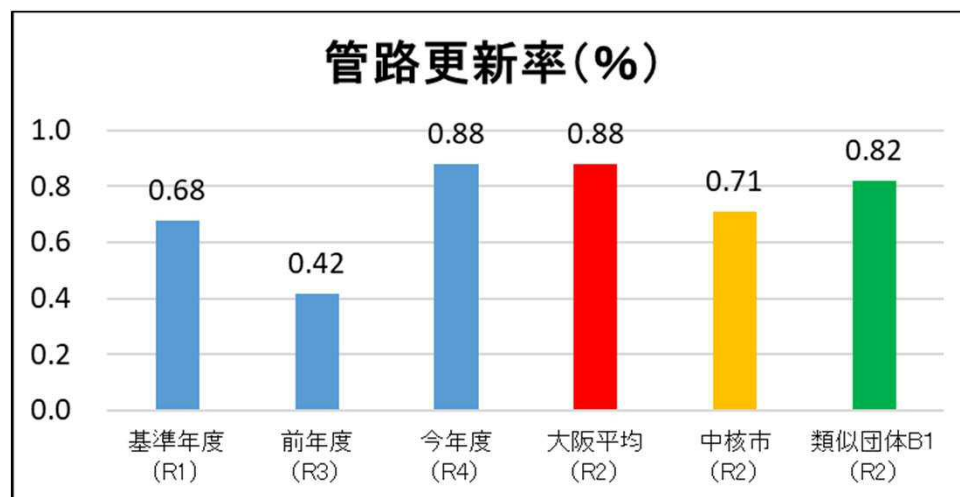
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑥ 管路更新率(%)

計画数値(R04): 0.85%
中間目標(R07): 1.00%
最終目標(R12): 1.00%

指標の
優位性



■ 管路更新率(%)

管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、管路更新の執行度合いを表す指標。

◆ 評価

管路更新計画に基づき、**更新優先順位を考慮して工事場所を選定し、工事を施工**することで、目標値を上回りました。

(参考) 令和4年度における管路布設延長:
9,419m(目標:8,700m)



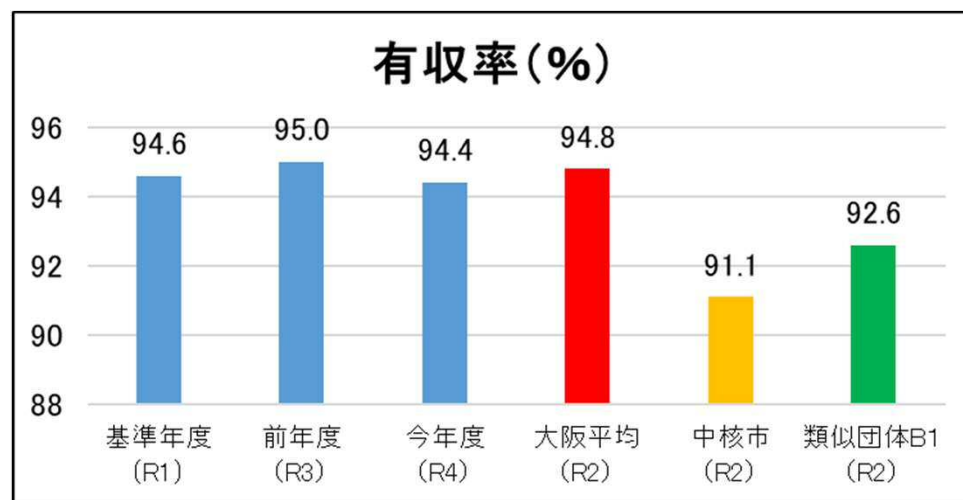
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑦有収率(%)

計画数値(R04): 95.0%
中間目標(R07): 95.0%
最終目標(R12): 95.0%

指標の
優位性



■有収率(%)

年間配水量に対する有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標。

◆評価

漏水調査は、令和4年度から令和9年度までの6年間に2巡する計画で実施中。

令和4年度は、**西地域南部の管延長285kmの漏水調査を実施**しました。**132件の漏水を発見し修繕**することで、不明水の減少による有収率の向上を図りました。

計画的に調査を実施したものの、**有収率としては目標値を僅かに下回りました。**



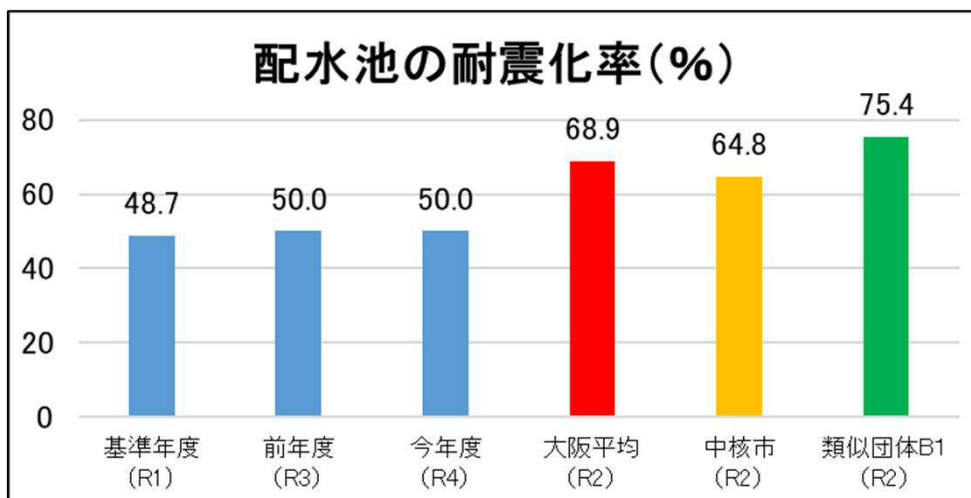
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑧配水池の耐震化率(%)

計画数値(R04): 50.0%
中間目標(R07): 52.4%
最終目標(R12): 52.4%

指標の
優位性



■配水池の耐震化率(%)

全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標。

◆評価

五条中区配水池における耐震補強工事の令和5年度実施に向けて、実施設計(耐震補強及び改修)を完了しました。



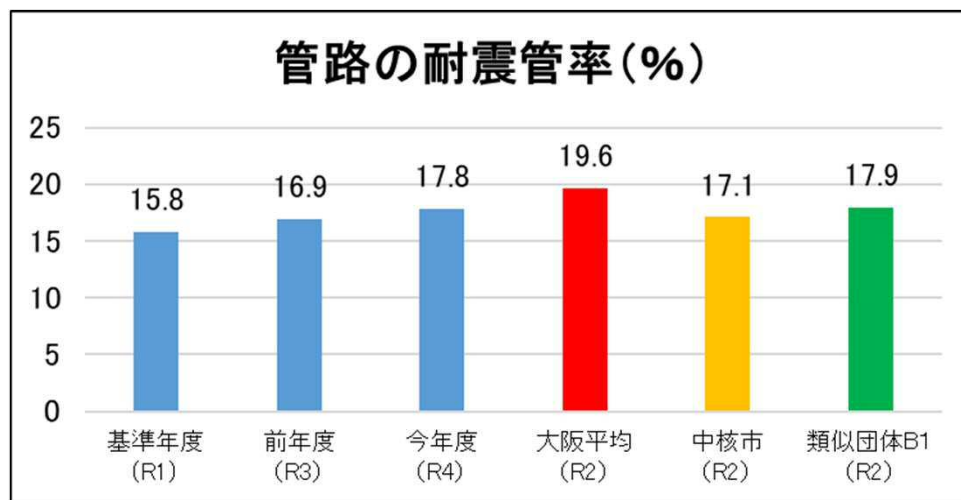
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑨ 管路の耐震管率(%)

計画数値(R04): 17.7%
中間目標(R07): 19.9%
最終目標(R12): 24.3%

指標の
優位性



■ 管路の耐震管率(%)

全ての管路の延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標。

◆ 評価

令和4年度は、管路更新計画に基づき計画的に更新工事を実施することで、**管路の耐震管率は目標値を上回りました。**

一方で、法定耐用年数を経過した管路は今後も増加していくため、更新延長・更新率の向上に取り組む必要があります。



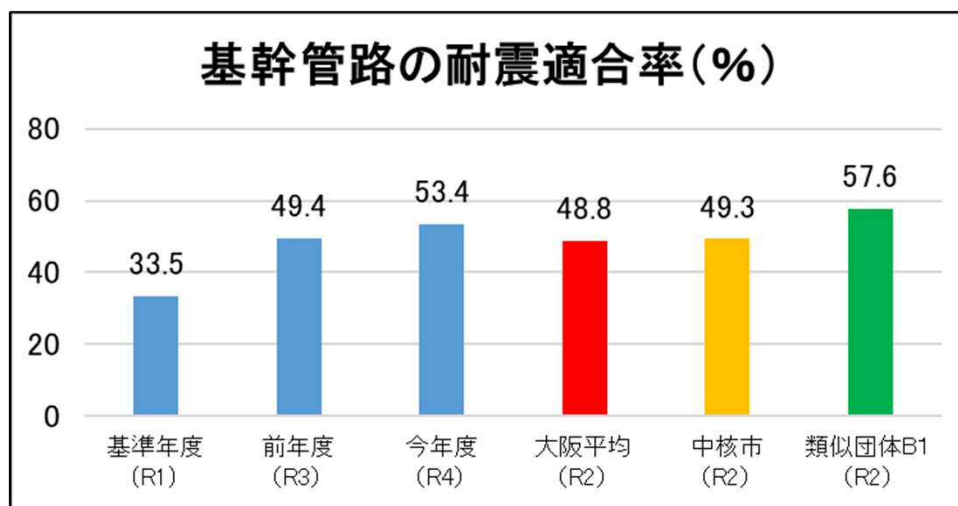
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩基幹管路の耐震適合率(%)

計画数値(R04): 48.1%
中間目標(R07): 53.2%
最終目標(R12): 65.3%

指標の
優位性



■基幹管路の耐震適合率(%)

基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

基幹管路の耐震適合率においても、管路の耐震管率と同様に目標値を上回る結果となりました。

現在のところ目標を達成できていますが、大口径・施工困難箇所には布設されている基幹管路の工事に向けた課題を有しています。



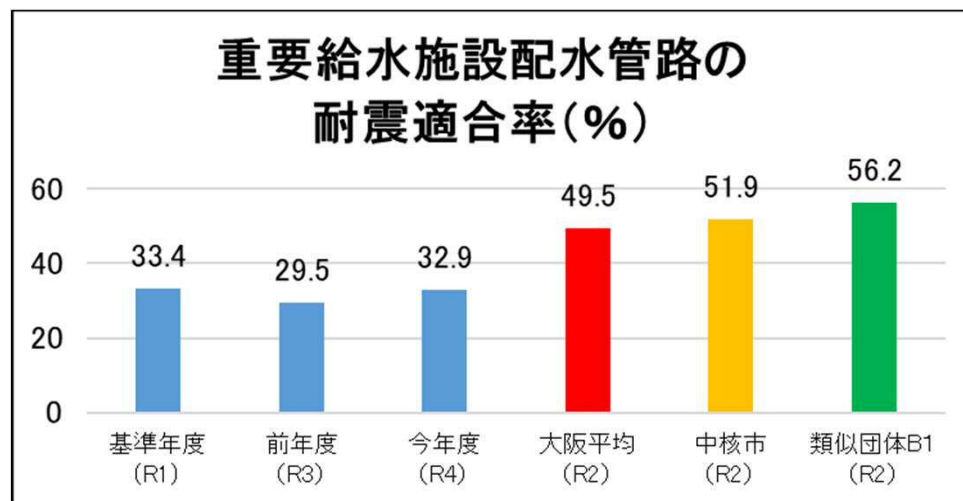
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑪重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

計画数値(R04): 33.1%
中間目標(R07): 39.6%
最終目標(R12): 54.4%

指標の
優位性



■重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

令和4年度は計画的な更新を実施したものの、昨年度が目標値を1%以上下回っていたため、結果的に**目標値を僅かに下回る結果**となりました。今後も、積極的な更新に取り組む必要があります。



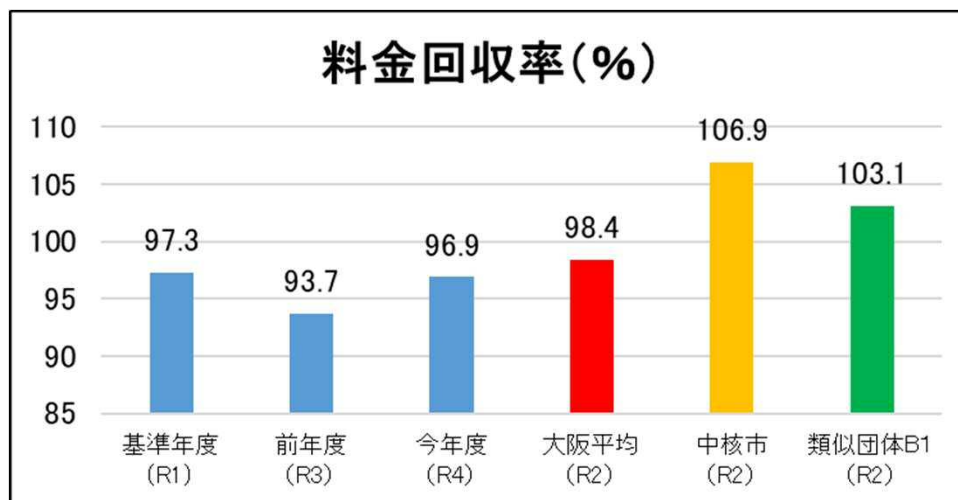
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑫料金回収率(%)

計画数値(R04): 適正な料金水準
料金体系の検討
中間目標(R07): 100.0%以上
最終目標(R12): 100.0%以上

指標の
優位性



■料金回収率(%)

給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

令和4年度は、コロナ対策のための減免を実施した昨年度に比べ改善されたものの、依然として100.0%を下回っており給水収益のみでは原価割れ状態が続いています。水道料金制度のあり方については、上下水道事業経営審議会においてもご審議いただき、令和4年8月に答申されました。



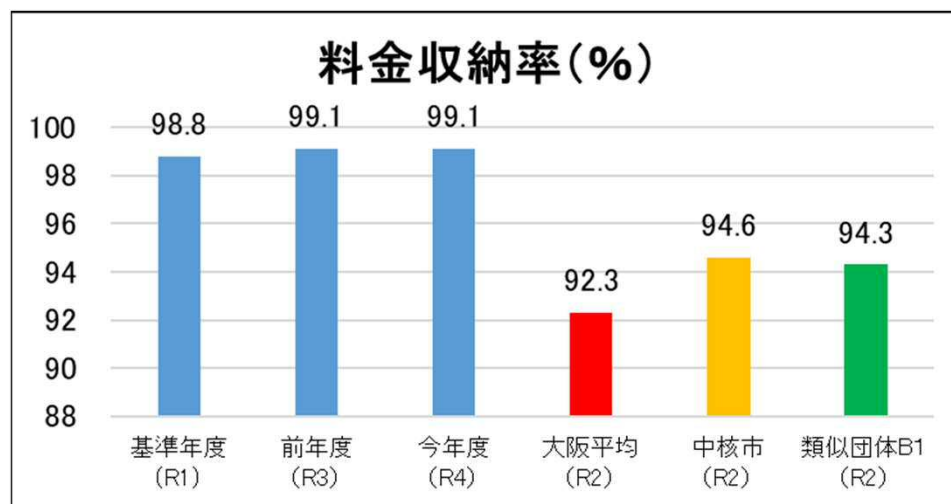
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑬料金収納率(%)

計画数値(R04):維持・向上
中間目標(R07):維持・向上
最終目標(R12):維持・向上

指標の
優位性



■料金収納率(%)

1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

これまでの未納対策に加え、閉栓未収対応及び高額滞納者対応等、未納対策の強化を実施しました。また、給水停止解除条件として、原則未納額の全額入金での解除を前提に交渉することで、収納率向上に取り組み、**昨年度の料金収納率を維持しました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

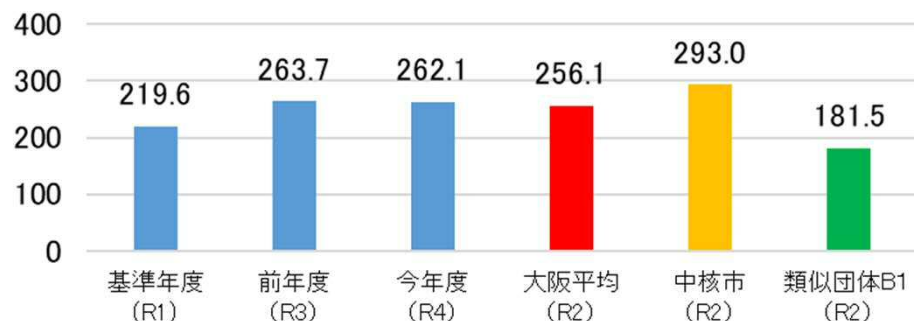
⑭給水収益に対する企業債残高の割合(%)

計画数値(R04): 350.0%以下
中間目標(R07): 350.0%以下
最終目標(R12): 350.0%以下

指標の
優位性



給水収益に対する企業債残高の
割合(%)



■給水収益に対する企業債残高の割合(%)
給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標。

◆評価

令和4年度は、**企業債の借入充当率を50%から40%へ引き下げた**ことから、給水収益に対する企業債残高の割合は**昨年度より低減することができました**。今後も、企業債残高と資金残高のバランスを考慮した運用が必要です。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

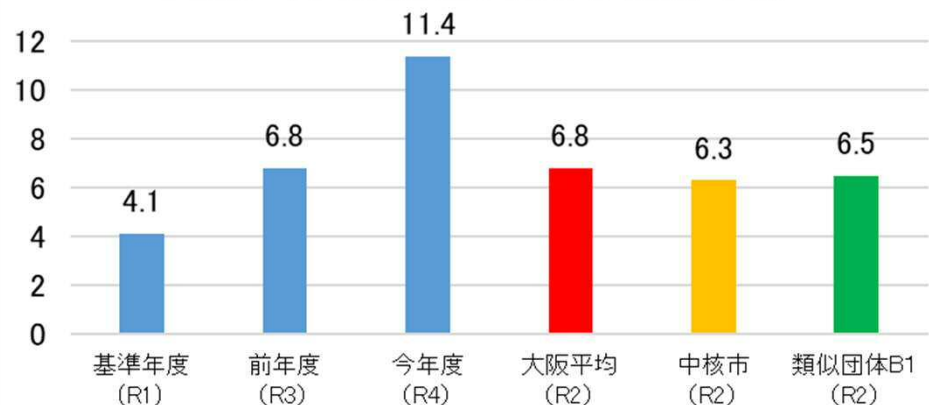
⑮内部・外部研修時間(時間/人)

計画数値(R04):7.7以上
中間目標(R07):13.0以上
最終目標(R12):16.0以上

指標の
優位性



内部・外部研修時間(時間/人)



■内部・外部研修時間(時間/人)

職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

令和4年度においては、昨年度に引き続き積極的な研修参加により、**一人当たりの研修時間が目標値を上回る事ができました。**

なお他市平均については、令和2年度の値であるため、コロナ禍による影響を受けて全体的に低くなっているものと推察します。

(参考: 令和元年度 大阪平均:15.8、中核市平均:17.1、類似団体平均:15.4)



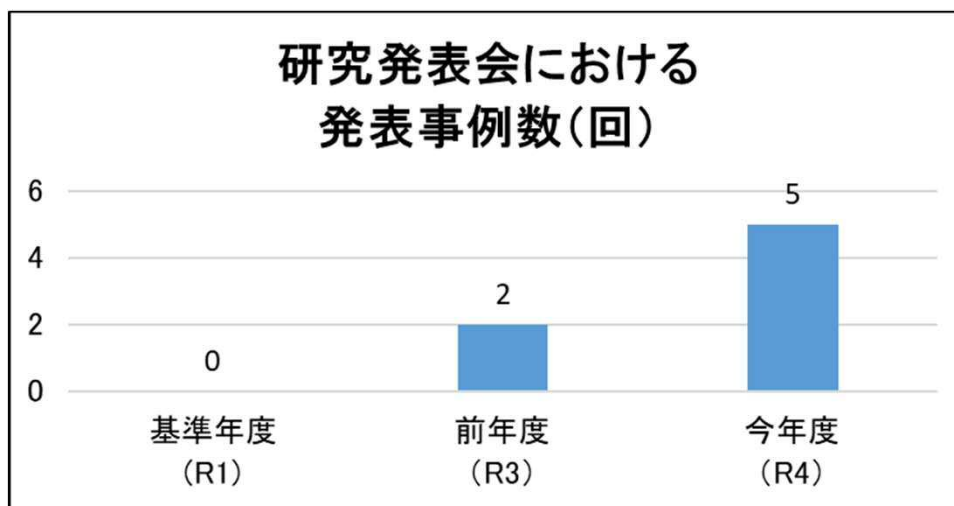
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩研究発表会における発表事例数(回)

計画数値(R04):複数回
中間目標(R07):複数回
最終目標(R12):複数回

指標の
優位性



■研究発表会における発表事例数(回)

日本水道協会等の研究発表会における発表事例数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

令和4年度は、日本水道協会全国会議及び日本水道協会関西支部にて2件ずつ発表した他、POLITEC水道講演会でも発表したことで、**発表事例数の目標である複数回を達成できました。**

- ・ 耐震型サドル付分水栓の施工検証
- ・ 水道建設工事におけるコスト節減の取組み
- ・ 東大阪市における管網再構築及び建設コスト縮減の取組みについて



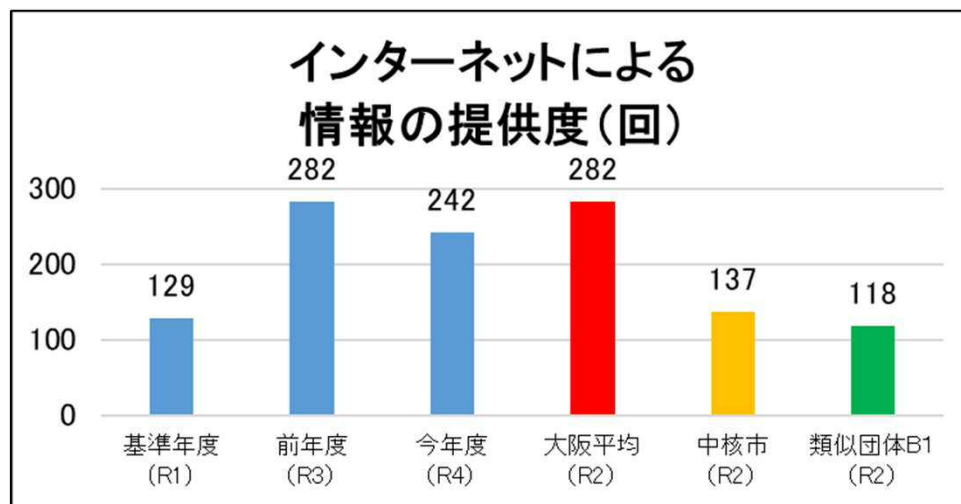
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑰インターネットによる情報の提供度(回)

計画数値(R04): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■インターネットによる情報の提供度(回)

水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標。

◆評価

令和4年度は、ウェブサイト全体を見直した昨年度に比べると低い値となりましたが、積極的な発信を継続することで、**基準年度である令和元年度の約2倍の提供度を維持しました。**

また、市公式SNS(Twitter、Facebook、LINE)を活用した広報を実施することで、SNSからも市ウェブサイトへアクセスできるよう努めました。



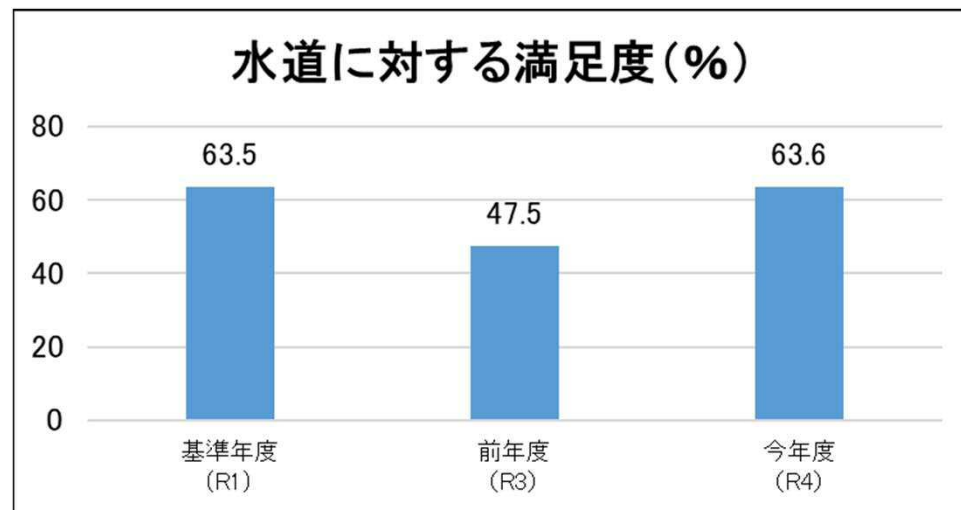
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑱水道に対する満足度(%)

計画数値(R04): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■水道に対する満足度(%)

アンケートで水道に「満足」等と回答した人数割合を示すもので、お客さまの満足度を表す指標。

◆評価

令和4年度は、講習会後のアンケートを実施した他、**市の広報部局と連携し、LINEアンケートを試験的に実施**しました。LINEアンケートでは2,882人の回答(配信者数:12,135人)を得ることができ、令和元年度の水道ビジョンを策定した際に実施したアンケート回答数を上回ることができました。

(参考)R1アンケート回答数:892人、配布数:2,000人)



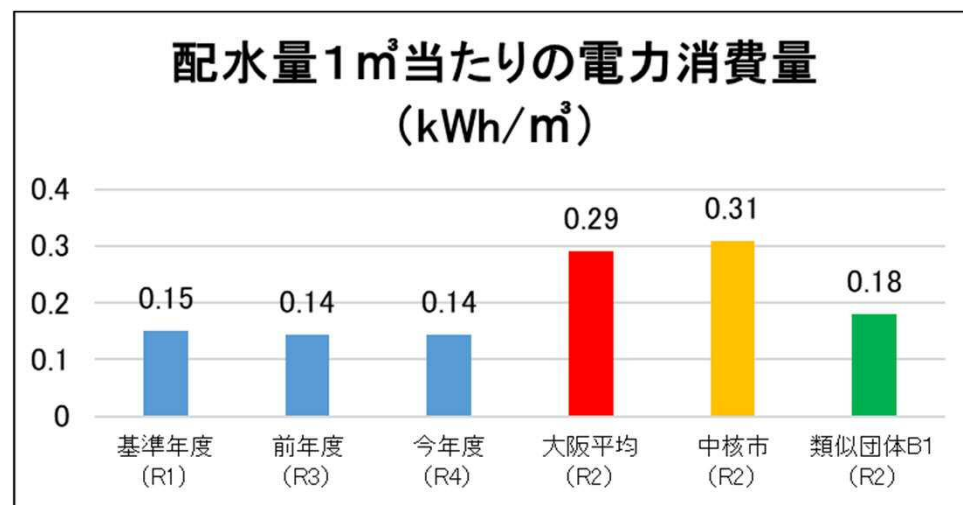
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑱配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)

計画数値(R04):維持・低減
中間目標(R07):維持・低減
最終目標(R12):維持・低減

指標の
優位性



■配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)
配水量1 m³当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

昨年度と同様、**大阪平均、中核市、類似団体よりも低い水準**を維持できています。

引き続き効率的な水運用により電力使用量の低減を図るほか受水エネルギーの有効活用を目指した新たなポンプ場の建設に向けた準備を進めるなど、次年度以降も維持・低減に努めます。



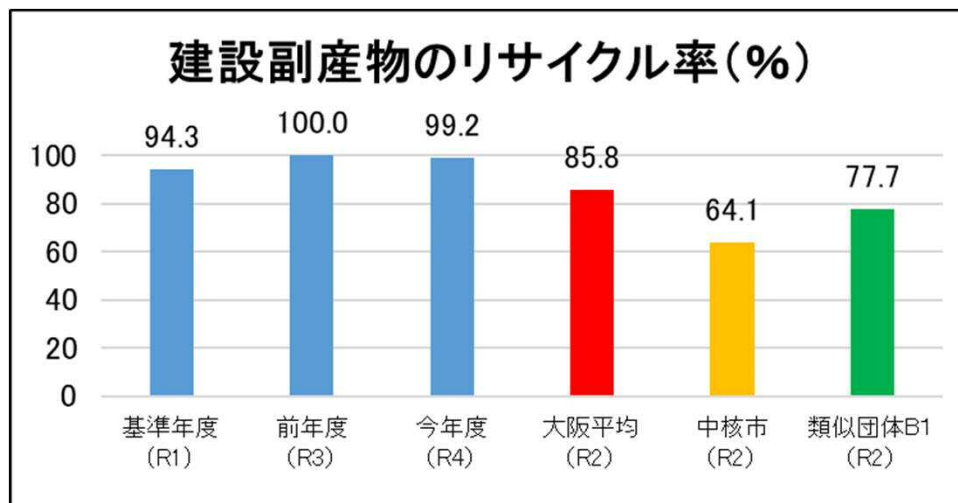
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑳建設副産物のリサイクル率(%)

計画数値(R04): 90.0%以上
中間目標(R07): 90.0%以上
最終目標(R12): 90.0%以上

指標の
優位性



■建設副産物のリサイクル率(%)

水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、再資源化(再使用・再生利用)された建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

リサイクル材の使用や、水道工事に伴って発生した建設副産物をリサイクル施設へ搬入するほか、工事の施工に先立ち試掘により土質調査を行い、良質な発生土は埋戻土として流用するなどして、リサイクル率向上を図りました。

結果、**令和4年度も目標値を達成**できました。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

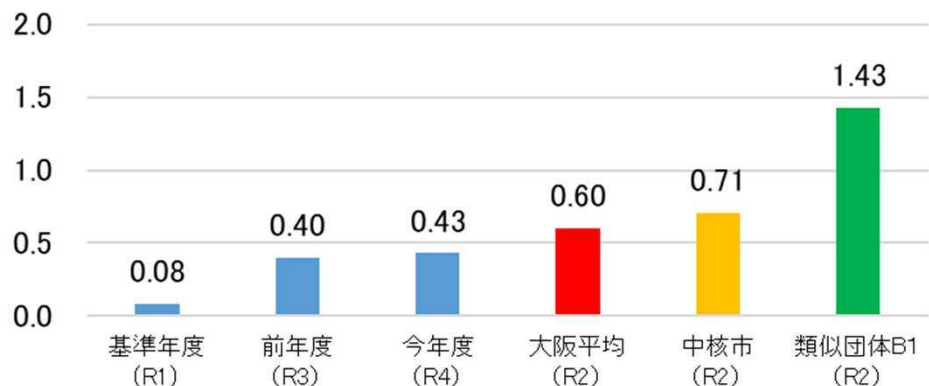
②再生可能エネルギー利用率(%)

計画数値(R04): 向上
中間目標(R07): 向上
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



再生可能エネルギー利用率(%)



■再生可能エネルギー利用率(%)

全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。

◆評価

太陽光発電(池島配水場及び上小阪配水場)や、マイクロ水力発電(水走配水場)の継続的な運用により、**再生可能エネルギー利用率を昨年度より向上**することができました。

一方で、池島配水場の太陽光発電は老朽化しているため、更新について検討が必要です。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備【重点施策】

統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング(取組No.15)

◆主な課題◆

【受水中継ポンプ場の建設】

用地取得協議に時間を要したため、その後の建設工事に関わる他のスケジュールについても全体的に後ろ倒しとなりました。

●今後の対応●

受水エネルギーの有効活用を目指した新たなポンプ場の建設に向けて、用地取得等のスケジュールについて、遅延が生じないように関係部署と確認・調整を行います。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑩ 必要な財源確保の推進【重点施策】

保有資産の有効活用（未利用地の使用許可、貸付、売却等）（取組No.41）

◆主な課題◆

【保有資産の有効活用（未利用地の使用許可、貸付、売却等）】

売却可能な用地について、関係部署等との調整を進めましたが、諸課題が解決できておらず売却には至りませんでした。

●今後の対応●

貸付できる用地等については、引き続き貸付をおこない、また、売却可能な用地については、関係部署等と調整を継続します。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進【重点施策】

民間活力を利用した効率的な運営体制の推進(取組No.55)

◆主な課題◆

【民間活力利用・業務の外部委託拡大の検討・実施】

令和3年度より営業部門の包括委託を実施しており、効果額は令和4年度実績で76百万円と一定計上できている一方で、業務の委託範囲拡大には至っていません。

●今後の対応●

お客さまサービスの向上を最優先とした上で、民間委託可能と考えられる業務のうちコスト削減効果の見込まれるものを検討し、積極的に民間活力の利用を推進します。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑮ 水道サービス・手続きの充実

口座割引・クレジットカード決済の検討(取組No.60)

◆主な課題◆

【口座割引・クレジットカード決済の導入検討】【お客さま向けアプリの導入検討】
大阪広域水道企業団への統合に向けて、水道料金システムの共同化について現在検討中です。クレジットカード決済導入やお客さま向けアプリについてはシステムの改修を伴うため、費用対効果から現時点で東大阪市単独での改修作業は難しい状況です。

●今後の対応●

大阪広域水道企業団と水道料金システムの共同化について検討し、お客さまの満足度向上が期待できるサービスを考えます。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑰ 省エネルギーに努めた水運用の推進

受水圧・位置エネルギー活用の推進(取組No.67)

◆主な課題◆

【受水圧・位置エネルギーの継続活用】

水運用における環境負荷の低減は図れている状況ですが、更なる低減に向けて、受水エネルギーの有効活用を目指した新たなポンプ場の建設を計画しています。

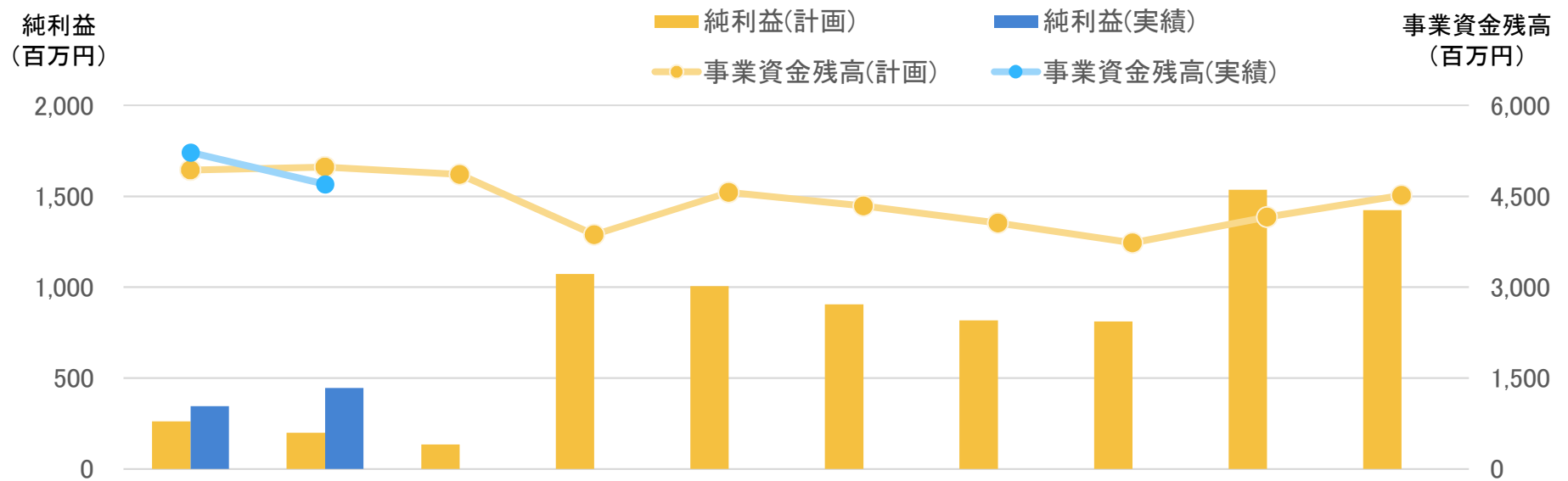
●今後の対応●

引き続き受水圧・位置エネルギーの活用を検討するとともに、新たなポンプ場の建設に向けた準備を計画的に進めます。



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

《 事業資金残高と純利益の実績と推移予測 》



	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業資金残高(計画)	4,931	4,980	4,863	3,866	4,565	4,340	4,059	3,731	4,159	4,517
事業資金残高(実績)	5,224	4,716								
純利益(計画)	262	198	135	1,072	1,005	905	817	811	1,535	1,423
純利益(実績)	345	445								



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

1. 現状における財政状況

- 事業資金残高は、令和4年度決算において47億円の資金残高を確保しており、黒字決算であることから健全経営を確保しています。
- 事業の根幹収入である水道料金収入は、コロナによる市民生活への影響等を考慮して減免を行っていた令和3年度に比べると増収となりましたが、供給単価が給水原価を下回る状況が続く中でも老朽化施設の更新等が必要であり、厳しい経営状況が続いています。

2. 水道ビジョン計画期間中における財政状況

- 料金改定を行わなかった場合、令和7年度に収益的収支が赤字となることが見込まれます。
- 料金改定時期について検討し、適切な時期に料金改定を実施することで、計画期間中の黒字決算および目標とする資金残高を維持します。



5. 進捗管理のまとめ

- 施設等の更新について、令和4年度は管路更新率の目標を達成することができました。今後は段階的に1.0%まで引き上げることで、老朽化対策に努めます。
- 水道料金収入は、新型コロナウイルスによる減免施策を実施した昨年度に比べ増収となりましたが、使用水量は減少しています。計画的な漏水調査による有収率の向上や、建設工事費のコスト削減など様々な経営改革に取り組むことで、健全経営に努めていますが、料金回収率は100%を下回る状況が続いており、財政は厳しい状況にあります。
- 上下水道事業経営審議会の諮問案件である水道料金制度のあり方について検討しました。引き続き、料金改定実施時期について検討します。

